

えんちょう通信

No. 3 5

令和3年1月22日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

「学ぶ力」があるということ

「どうしたらいいかわからないので、教えてください。お願いします。」
これは、ものを教わるときのマジックワードです。

先週のことです。朝、廊下を歩いていると、年長組の男の子が、リュックを抱えて、泣きながら駆け寄ってきました。

「(リュックのファスナーに布が) 挟まったので、どうしたらいいか教えてください。」
ファスナーがリュックの布を噛んでしまって、閉まらなくなってしまったのです。引っ張ってみましたが、ファスナーは動きません。これでは悲しくなるのも無理はありません。

「挟まった布を引っ張りながら、チャックを、少しずつ引っぱってみよう」。その子と二人で、少しずつ、少しずつファスナーを引っ張って、何とか挟まった布を外すことができました。

「今度は、ゆっくり閉めるんだよ。」と言うと、その子はリュックを廊下のフックにかけて、安心して保育室へ戻って行きました。

感心したのは、その子が「園長先生、直してください。」と言ってきたのではなく、「園長先生、どうしたらいいか教えてください。」と言ってきたことです。

こういう言葉を素直に、まっすぐに言える子のことを「学ぶ力がある」というのだと思います。そして、変化の激しいこれからの時代には、その「学ぶ力」がとても大切になります。

子どもたちは失敗やつまずきからも、大事なことを学んで、成長していきます。



発表会について



子どもの可能性を信じる大人のあたたかな「まなざし」の中で、子どもたちは大きく成長していきます。

まだまだ厳しい状況にはありますが、最大限の感染症対策を講じ、子どもたちをステージに上げてやりたいと思っています。
ご理解とご協力をお願いします。(※詳細はおたよりをご覧ください)

日時：2月13日(土) 9:00~10:00 年少 ちゅうりっぷ組の発表
10:00~11:00 消毒・換気、準備の時間
11:00~12:00 年長 ひまわり組の発表

場所：清水幼稚園2階 遊戯室

その他：○参観者は1家庭1名です。座席はあらかじめ決めておきます。

○マスクの着用、手指の消毒、会話をできるだけ控える等、ご協力願います。